

### ③校内研修計画

校内研修計画は以下の点に留意して作成します。

- (1) 学校の教育課題を明確にし、校長の方針の下、課題解決のために全教職員で取り組むことを共通理解する。
- (2) 学校の教育課題や教育目標、校長の学校経営方針と関連付けて、研究のねらいや児童生徒に身に付けさせたい資質・能力、目指す児童生徒像等を明確にし、具体的な方策を明記する。
- (3) PDCAサイクルに基づく校内研修になるよう、成果と課題を明確にする。

## 令和〇年度 校内研修計画（例）

〇〇〇立〇〇〇学校

### 1 研究主題

学校の教育課題、目指す児童生徒像を受けて、研究の目的（身に付けさせたい資質・能力、目指す児童生徒像等）を達成（育成）するための方法などを記述する。

例) 〇〇〇のための〇〇〇の工夫 (研究) (〇年次)

目的 方法

※副題を設定する場合は研究主題に「目的」、副題に「方法」などを記述することが望ましい。

- ・ 活用する力を育成するための学習指導方法の工夫 (3年次)

### 2 教科・領域

研究する教科・領域を記述する。

- 例) ・教科だけの場合 → 「全教科」「算数」「国語、算数」 など  
 ・教科と領域を含む場合 → 「全教科、全領域」「生活、総合的な学習の時間」 など  
 ・領域だけの場合 → 「全領域」「総合的な学習の時間、特別活動」 など

### 3 主題設定の理由

研究の指針、昨年度までの研究の成果や課題、児童生徒の実態、目指す児童生徒像との関連、研究主題に迫るための手立てなどを記述する。

例)

【研究の指針】

- ・学習指導要領
- ・文部科学省の方針
- ・青森県教育委員会の方針 など

「 」は文末例

「…が大切である。」  
 「…が求められている。」

【昨年度までの研究の成果や課題】

- ・児童生徒の変容、現状、問題点 など

「…という成果が見られた。」  
 「…が十分でなかった。」

【児童生徒の実態】

- ・各種調査等客観的なデータ
- ・調査結果の分析 など

「…という実態である。」  
 「…という結果が明らかになった。」

【目指す児童生徒像との関連】

- ・学校の教育課題、教育目標
- ・児童生徒に身に付けさせたい資質・能力
- ・校長の学校経営方針 など

「…という課題が挙げられた。」  
 「…する力を身に付けさせたい。」  
 「…という学校経営方針を基に、…とした。」

【研究主題に迫るための手立て】

- ・具体的な解決方法 (研究内容、検証方法)、調査方法、方向性 など

「そこで、…ではないかと考える。」

【主題設定の理由の結論付け】

- ・上記の設定理由のまとめ

「…の考えから、…を主題として設定した。」

#### 4 研究目標

研究の方向性やゴールを示すものとして、研究における手立てや身に付けさせたい資質・能力等を明確に記述する。

例) ○○○において、○○○のために、○○○が有効であることを実践から明らかにする。

場、内容 目的 方法

- ・ ○○○科において、活用する力を育てるために、既習を生かして問題解決する場面の工夫や習得と活用の場面を明確にした単元構成の工夫が有効であることを実践から明らかにする。

#### 5 研究仮説

校内研究の見通しや予測にあたるものとして、研究の手立て、身に付けさせたい資質・能力、児童生徒の変容の姿等を明確に記述する。

例) ○○○において、○○○することによって、○○○のような変容の姿が見られ、○○○になるであろう。

場、内容 方法 目的

- ・ ○○○科において、既習を生かして問題解決する場面を工夫することによって、習得した知識及び技能を生かして考え、自分の言葉で互いに伝え合う姿が見られ、活用する力を育てることができるようになるであろう。
- ・ ○○○科において、習得と活用の場面を明確にした単元の指導計画を工夫することによって、教師による適切な評価、支援ができるようになり、活用する力が育成されるだろう。

#### 6 研究内容

目指す児童生徒像、研究主題、研究目標、研究仮説を踏まえて、具体的な取組を記述する。

例) ○○○における、○○○の工夫

方法・場 具体的な取組

- ・ 日常の授業における、既習の知識及び技能を生かして問題解決する場面の工夫
- ・ 単元において、知識及び技能を習得する場面と既習を生かして活用する場面を明確にした単元の指導計画の工夫

研究主題、研究目標、研究仮説、研究内容の整合性を図ることが大切です。

#### 7 研究方法

主たる研究の方法を記述する。

- 例) ・ 提案授業及び研究協議を通して仮説の検証を行う。  
・ 学年（ブロック、教科）ごとに研究計画を立て、授業実践を行う。  
・ 授業実践に基づく成果と課題を学期ごとに明らかにする。

学校の教育課題解決のために全教職員で取り組むことができるような研究方法を設定します。

#### 8 検証方法

具体的な検証の仕方を記述する。

- 例) ・ 各種調査結果を分析し、変容を把握する。  
・ 児童生徒の振り返りから変容を評価する。  
・ 児童生徒への学習アンケートを学期（前期・後期）末に行い、変容を把握する。

児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を振り返る視点とするなど、検証方法を明確に設定し、校内研修の成果と課題を明らかにします。

#### 9 年間計画等

PDCAサイクルに基づき、実施時期や役割分担などを決定し、記述する。

分掌間で連携して計画的・実践的な計画を立て、全教職員で共通理解を図って取り組みます。また、計画の中に一般研修の内容を併せて記載し、研修の全体像が見えるようにすることもあります。